



Data Sheet | Parallels Remote Application Server お客様事例

シンクライアントでセキュリティ レベルの高度化と運用コストの大幅削減を同時に実現した川口信用金庫

サイバーセキュリティのリスクが増大する中、川口信用金庫は「お客様が安心できる金融機関」として、情報システムのセキュリティ レベルを今以上に高めたいと感じていました。その実現にあたって同金庫では、「Parallels Remote Application Server (パラレルス リモート アプリケーション サーバー)」によるシンクライアント システムを導入。セキュリティ レベルを向上させると同時に、システム課による運用・サポート コストの大幅削減にも成功しました。

組織

川口信用金庫は、埼玉県川口市に本店を置き、同県南部を中心に 45 店舗を展開する地域密着型の金融機関です。2015 年 3 月末現在で、法人個人を合わせて 6 万 5,190 人の会員がおり、出資金は 20 億 9,700 万円に達しています。「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」という基本理念のもと、地域の人々に選ばれる金融機関となるべく、全社員一丸となった経営、地域社会への貢献を行っています。

課題 - ファットクライアント 環境におけるセキュリティ リスクの高まりと運用負荷の増大

川口信用金庫では本店・営業店舗を合わせ、約 400 台の Windows PC をこれまで従業員の一般業務用に利用していました。同金庫では、金融機関として顧客から預かっている重要な情報を保護し、法令を遵守するために、各拠点に配備された PC のセキュリティについては、十分な配慮を行っていました。情報漏えいを防ぐための社内的なルールを定め、それを遵守するとともに、PC を利用する場合には IC カード認証を利用したり、USB メモリのような外部記憶装置の接続を禁じたりといった技術的な対策も行っていました。

一方で、近年ではさまざまな組織をターゲットとした「標的型」のサイバー攻撃が増えており、それによる企業の情報漏えい事件も多数発生しています。こうしたリスクの高まりを受けて同金庫では、よりセキュリティ レベルが高く、情報漏えいのリスクが低いシステム環境への移行を検討することになりました。同時に、同金庫のシステム課では、この約 400 台に及ぶ PC の運用管理にかかるコストや負荷を削減したいとも考えていました。Windows に対するセキュリティ パッチの適用や、業務用アプリケーションのアップデートは、スタッフが手分けをして 1 台ずつ行わねばならず、非常に負荷のかかるものでした。

そして、PC にトラブルが起きた場合のサポート対応にも手間がかかっていました。トラブルが起きた PC の回収とチェック、修理後の環境復旧と再配備を PC ごとに行う必要があったからです。また、同金庫では、業務で使用するデータファイルについては、共有サーバー上に保存するよう通達していましたが、PC 内のハードディスクに保存されてしまうその他データも多く、PC が故障した場合にはそれらデータの復旧が困難で、結果的に業務に支障を来す状況も散見されました。

これらの課題を解決すると同時に、「Windows XP」のサポート終了が予定されていたことから、システム課ではシンクライアントによるシステム環境の刷新に着手しました。

「お客様の情報を守るという観点から、金融機関である当金庫としては、情報漏えい等の事案について非常に敏感です。システムの運用保守を担当している私たちシステム課としては、シンクライアントは魅力的なシステム構成でした」

— 川口信用金庫 事務集中部 システム課 課長 国分 良孝 氏

ソリューション - Parallels Remote Application Server によるシンクライアント環境

同金庫では、シンクライアントシステムの導入にあたり、さまざまな製品やサービスを業務に求められる要件と照らしながら比較検討し、結果として「Parallels Remote Application Server (※旧 2X Remote Application Server)」の導入を決定しました。

Parallels Remote Application Server は、ネットワーク上にあるサーバーを通じ、シンクライアント デバイスに仮想デスクトップとアプリケーションを提供できる製品です。各ユーザーが利用するコンピューティング リソースや Windows 環境、アプリケーション、業務データは、全てサーバー側で管理と保存が行われます。各ユーザーは、その画面のみを表示する安価なシンクライアント端末から、それらを利用します。シンクライアント環境を実現するソリューションは他にもありますが、Parallels Remote Application Server は、同金庫でこれまで使われていた Windows 環境との親和性が高く、導入と管理が他の製品と比較して非常に容易に行える点が高く評価されました。同金庫への導入を担当した KDDI株式会社が、自社でも Parallels Remote Application Server を活用していたことから、導入・運用面でのサポートを信頼して任せられると感じたことも、選定の決め手になったようです。

導入は、まずシステム課と本店の一部で試験的に開始されました。約1年の試験期間で Parallels Remote Application Server の環境に問題はないか、従来の業務を問題なく実施でき、複数あるシステム・アプリケーションが問題なく起動するか等について十分な検証を行い、問題がないことが確認されたのちに全営業店舗への展開を行いました。

2015年8月には、同金庫の一般業務向けのPCが、全て Parallels Remote Application Server を利用したシンクライアント システムに移行しています。

「1年の試験期間を経て導入を行ったこともあり、展開もその後の運用も非常にスムーズでした。サーバーやネットワークのサイジングも問題なく、ユーザーは従来と同様の使い勝手と、より良いパフォーマンスで業務を行えるようになりました。クレームは全くありません」(国分氏)

導入効果 - セキュリティの向上に加え、システムコストの大幅な削減にも成功

全店舗規模でのシンクライアント環境が完成したことにより、同金庫における情報漏えいリスクは、さらに低いものになりました。PCのように端末ごとにハードディスクを持たないシンクライアント端末では、データをクライアント側に保存することができません。そのため、クライアント側でのセキュリティ対策は、よりシンプルなものになりました。

更に大きなメリットは、運用負荷の軽減でした。Parallels Remote Application Server のシンクライアント環境では、全てのアプリケーションやデータをサーバー上で管理・保存します。そのため、端末側で故障が起こった際には、ユーザーのシンクライアント端末を新品に交換するだけで、すぐに業務を再開できるようになりました。導入前は故障したPCを丁寧に梱包し、明確な授受記録をつけて、厳重な輸送体制で各段階ごとPCの授受を実施、システム課に到着後に修理・環境復旧を行い、その完了後に同様の手間をかけ、PCを再配備するというを行っていたのです。セキュリティパッチの適用やアプリケーションのアップデートも、サーバーに対して一括して行うだけで良くなったため、これまでシステム課のスタッフが各営業店舗に出向いて行っていたような作業は全て不要になりました。システム課のスタッフは現在4名ですが、3年前は6名で行っていた業務が、より少ない人数で十分に対応できる環境になっているそうです。

シンクライアント環境への移行による「コスト削減」効果については、PCを入れ替えながら運用する環境と比較して「イニシャル、ランニングの双方で十分に満足できている」と、システム課課長の国分氏は述べています。特に大きいのは、ランニングにおける「間接的なコスト」を削減できる点にあるそうです。この「間接的なコスト」には、課員がサポートを行う際に発生する稼働コスト、営業店舗までの移動交通費、シンクライアント化によって不要になるセキュリティ対策コストなど、さまざまなものが含まれます。これら全てを合わせて考えることで、膨大なコスト削減に成功しています。

「最大の効果は、実は“システム課スタッフ自身の意識変革”にあったと思っています。運用の負荷が大幅に削減できたことで、より経営に貢献できるシステム環境やサービスを、システム課主導で構築・提供していく基盤が整ったと考えています」(国分氏)

今後システム課では、Parallels Remote Application Server によるシンクライアント環境を基盤として、顧客に安心して資産を預けてもらえるセキュリティの確保を続けるとともに、全店舗規模で業務を効率化できるような、コミュニケーション ツールなどの活用も検討しているそうです。

(取材協力：KDDI株式会社)

● ビジネス状況のまとめ

- 川口信用金庫では、かつて約400台のWindows PCを業務用に展開していましたが、昨今のサイバーセキュリティリスクの増大にともない、より高いセキュリティレベルを実現したいと考えていました。また、システム課の人員に限られる中、サポート業務の負荷が限界に達しており、より効率的に運用が可能なインフラが必要になっていました。

● 利点のまとめ

- クライアント側にデータやアプリケーションを置かないシンクライアント環境のメリットにより、より情報漏えいが起こりにくい環境を実現することができました。また、サポートの負荷も大幅に軽減され、現在は4人のシステム課スタッフによって運用が可能になっています。

● ソリューションのまとめ

- 同金庫では、セキュリティレベルが高く、運用管理を効率化できるシステム環境として「シンクライアント」の導入を検討。業務内容と照らしながら様々な製品を比較検討し、「Parallels Remote Application Server」の導入を決定しました。Windows環境との親和性が高く、導入と管理が他の製品と比較して容易に行える点が高く評価されました。

お問い合わせ：

PJ-1602CP-01-1000

詳細は、www.parallels.com/jp/products/ras/ をご覧ください。

parallels.com/jp/contact

© 2016 Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

Parallels Japan 〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-2 日総第24ビル5F TEL: 03-6459-1362(代表) FAX: 03-6459-1363 E-mail: cpa-sales@parallels.co.jp

Parallels